

6年生保護者の皆様

江戸川区立鹿本小学校

校長 太 卷 美 青

## 令和3年度 「全国学力・学習状況調査」結果および分析（成果と課題）

令和3年5月27日に実施した「全国学力・学習状況調査」（全国の小学6年生を対象）の結果をもとに成果と課題を分析しましたのでお知らせいたします。

※○は、良い点、▲は、課題点です。

※「平均」は「平均正答率」の略です。

### 【国語】

	知識及び技能	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	平均
本校	68.1	75.0	58.3	43.5	63.0
東京都	69.9	81.8	62.7	53.5	68.0
全国	68.3	77.8	60.7	47.2	64.7
全国と本校の差	-0.2	-2.8	-2.4	-3.7	-1.7

○「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」問題では、全国・東京都の平均を上回っていました。引き続き、習った漢字を正しく使えるよう、指導をしていきます。

○「目的や意図に応じ、資料を使って話す」問題では、全国・東京都の平均を上回っていました。

▲全ての領域の平均正答率が、全国・東京都を下回っています。基礎・基本の知識を身に付けさせるために、授業中のルールの徹底や家庭学習の充実を図ります。また、分かる授業の工夫に取り組んでいきます。

▲「文の中における主語と述語との関係や、修飾と被修飾との関係を捉える」問題では、全国・東京都の平均を下回っています。言葉の特徴や使い方について、丁寧に指導していきます。

▲選択式や短答式の問題に比べ、記述式の問題における平均正答率が、全国・東京都の平均を下回っています。物語文の学習では、物語を要約したり、説明文の学習では、内容の要旨をまとめたりできるように指導をし、自分の考えを目的に応じてまとめられるよう指導していきます。

### 【算数】

	数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用	平均
本校	52.1	39.8	64.8	64.8	72.2	60.0
東京都	65.4	63.7	77.7	79.8	79.5	74.0
全国	63.1	57.9	74.8	75.9	76.0	70.2
全国と本校の差	-11.0	-18.1	-10.0	-11.1	-3.8	-10.2

○「棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができる」問題では、全国・東京都の平均を上回っていました。

▲全ての領域の平均正答率が、全国・東京都を下回っています。引き続き、基礎・基本の知識を確実に身に付けさせるとともに、児童の身近なことから課題を見付け、解決したことを実生活に生かしていけるように指導を行っていきます。また、今後も朝学習や家庭学習・自主学習等に東京ベーシックドリル等を活用して、基礎・基本の定着を図っていきます。

▲選択式の問題に比べ、短答式や記述式の問題における無回答率が、全国・東京都の無回答率よりも高い傾向にありました。授業の中で、自分の考えを言ったり書いたりすることの指導の一層の充実を図ります。

## 【質問紙】

### (生活面)

- ・「普段、テレビゲーム（携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）を1時間以上する」と回答した児童が、全国・東京都の平均を上回っていました。
- ・「自分には、よいところがある」と回答した児童が、全国・東京都の平均を下回っていました。しかし、「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」や、「人が困っているときは、進んで助けいている」、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した児童が、全国・東京都の平均を上回っていました。引き続き、それらを、良さとして認める指導をしていきます。
- ・「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と回答した児童が、全国・東京都の平均を上回っていました。考えを交流することから学びを確かなものにしていけるよう、引き続き指導していきます。
- ・学校の授業時間以外の読書の時間が、全国・東京都の平均と比べ、少ないです。しかし、30分以上と回答した児童は、全国・東京都の平均を上回っており、たくさん読む児童とほとんど読書をしない児童との差が大きいことが分かりました。
- ・学校で、ICT機器を使って、意見を交換したり、調べたりする頻度が少ないと回答した児童が、全国・東京都の平均よりも上回っていました。今後もICT機器を有効活用できるような、指導の工夫をしていきます。

### (学習面)

- ・「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童が全国・東京都の平均よりも上回っていました。
- ・「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている」と回答した児童が全国・東京都の平均よりも下回っていました。前時の振り返りの時間などを設定し、次の学習に生かしていけるよう、引き続き指導していきます。
- ・「国語の勉強は好き」と回答した児童が、全国・東京都の平均を上回っていました。しかし、「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した児童や、「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した児童は、平均を下回っていました。
- ・「算数の勉強は好き」と回答した児童が、全国・東京都の平均を上回っていました。しかし、国語と同様、「算数の授業の内容はよく分かる」と回答した児童や、「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した児童は、平均を下回っていました。「国語や算数の勉強が好き」という児童の学習意欲を持続させるため、日常生活と結び付けるような教材の工夫に、校内研究等で取り組み、指導の一層の充実を図ります。
- ・「新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じた」と回答した児童は60%を超えていました。家庭学習の進め方や、欠席した児童のTeamsによるオンライン学習等のICT機器の有効活用も含め、指導の工夫をしていきます。